

グローバル化した企業を支えるIT提供を目指して

SIソリューション事業担当
常務取締役 佐藤 文雄



現在のビジネス環境は、グローバル化によって海外での変化が即日本企業に影響するなど、短期間に激変するようになってきています。お客様が利用しているITの役割は増し、この変化を乗り越えていくことができるITが不可欠となっています。また、企業の競争力を向上させるためには、ITを効率的に活用するだけでなく、複雑になったITを可視化して最適化するという課題にも取り組んでいくことが求められるようになってきています。いわば、ITの実現力の差が競争力の差になるということです。

こうした大きな変革に適したITを提供していくために、当社のSIソリューショングループは、お客様より求められる“高品質で柔軟なシステムを、低コストで迅速に開発する”にお応えすべく、自身がイノベーションを実践していかなければならないと考えています。イノベーションとは、東芝がグループをあげて掲げている大きなテーマでもあります。当社では、お客様に最適なITソリューションを提供するために様々なイノベーションに取り組んでいます。その一端をここで紹介させていただきます。

お客様に高品質で柔軟なITソリューションを提供するために、受注、プロジェクト開始、開発の各プロセスの改革に取り組んでいます。プロジェクトの規模、開発の方式・ツールやOSなどの組合せによって、システム構築に

関するリスクは異なります。当社ではこれらの工程のレビューを行う際に、部門全体のプロジェクト管理責任を持つPMO（Project Management Officer）が中心となり、そのリスクの大きさや種類によって最適なレビュアーを選択しています。その一環として、技術分野や業種業務などプロジェクトの経験者を登録し、各工程でのレビュアーとして参加する試みを始めています。高リスクの案件に関しては、経営陣からもレビュアーとして参画しています。

現在、ITを迅速に低価格で提供できる仕組み作りを進めています。Oracle EBSやMicrosoft DynamicsなどのERPパッケージでは、業務コンサル、IT技術者の100人体制構築をめざし、パートナー会社メンバーも含めた教育を実施しています。また、製造業向けSCMと会計を中心とした独自テンプレートの開発にも取り組んでいます。このほか、複雑なシステムを仮想化により簡素化し、コスト削減と運用管理体制強化を実現するIT基盤の統合、クラウドコンピューティング実現に向けた研究の実施、IT活用による省エネルギーを実現するグリーンITソリューションの提供など、様々な分野でイノベーションに取り組んでいます。中国・ベトナムなどの海外拠点、国内の地方拠点の充実など、お客様のコストメリットを高める取り組みも強化しています。

最適なITシステムを提供するためには、お客様と一体となってプロジェク

トに参画するPMやプロジェクトメンバーの能力が重要であると考えています。そこで、実際の開発手法に準拠した独自のカリキュラムを、教育会社と共同で開発し活用しています。また、PM教育については座学だけでなく、ワークショップを交え経験の中で人材を育てる体制を拡充しています。毎月実施されるプロジェクトレビューの際には、PMOがPMに対し様々な質問を行って、問題点を気付き考えさせる体制を作りました。さらに、問題解決に向けてはメンタリングOJTとして、様々な課題を抱えたPMが個別にPMOに相談を行える体制を作っています。

今号の特集では、仮想化技術を活用した統合IT基盤ソリューション、様々なお客様へ対して基幹系システムの再構築を支援するERPソリューション、ソフトウェアの高品質化をサポートする第三者検証サービスなどの最新の取り組みについて紹介いたします。

当社は、システム設計からテスト、運用までお客様のIT構築のすべての工程を通してご支援できることが強みとなっています。今後はさらに、システム設計の最上流部分である業務コンサルティングから要件定義工程の技術者を増員強化することで、お客様の価値増大にご協力できるSI事業者を目指してまいります。